オンライン授業×放送教育実践

特別支援学校高等部３年　公民　倫理オンライン授業での「対話的な学び」の実践へ繋げる『Q～こどものための哲学』の活用

東京都立光明学園　病弱教育部門　主任教諭　川口　尚人

【実践報告の概要】
令和２年５月、臨時休業によるオンライン授業の際と、６月の分散登校による寄宿舎での個別学習の際に、番組を見ただけで学習のパターンがわかるので毎回同じように活動ができ、積み重ねることで効果的に深い学びができるようになる。元々生徒一人の授業だったこともあり、目の前で板書したり、細かい生徒の表情などがわからなかったりすること以外は、通常の授業と変わることはない。テーマＢの１人１台端末としても考えることができる。今回はZoomによって質問したり答えをノートに書いて提示したりした。現在本校ではTeamsによるオンライン授業を行っており、資料の提供がより便利になっている。

【取組の具体例】高３選択　公民　倫理（２単位）

週１回２時間続きの授業の１時間目をこの活動にあて、２時間目に教科書を進めている。

単元名　なんで勉強しないといけないの？

Qワード:なんで～？

ねらい　番組を視聴してテーマを深く考え、自分の考えを深めることができ、思考を深める楽しさを知る。

１．本時のテーマを確認し、自分の考えを言う。

「なんで勉強しないといけないの？」

頭を良くするため、大学に行くため。

２．番組視聴　Q～こどものための哲学＃1「なんで勉強しないといけないの？」(10分間)

Qワードを意識しながら視聴する。(なんで～？)

３．番組と同じように「Qワード」を使った教員の質問への考えを言い、思考を深める。思考を中断させないために答えを教員が記録する。

Q：なんで大学に行く必要があるの？

（行きたいの？一般論でなくて、君は？）

A：もっと極めたい。

Q：なんで勉強するの？

A：頭を良くするため。でも職業による。…(中略)…

４．最終的な考えを決め、発表する。

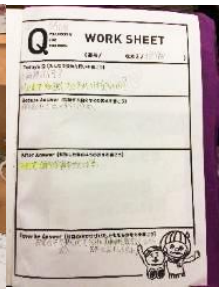
Q：なんで勉強しないといけないの？

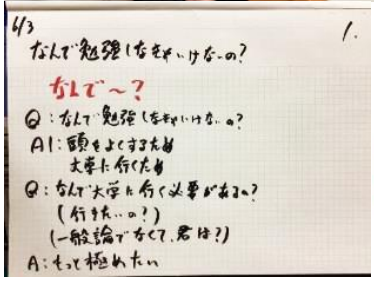
A：**パソコンで調べ学習をがんばる！**

５．授業を振り返り、感想をまとめる。(発表はしない)

最初から順に思考過程を振り返り、最終的な考えを確認する。

そのあと、添付されたワークシートを使って、この時間の授業の感想をまとめる。





【活用番組と実践者による番組分析】

活用番組「Q～こどものための哲学」

「Q～こどものための哲学」は、アクティブ・ラーニングに必要な「思考力と対話力」を育むこども向け哲学番組。(番組Webサイト番組紹介参照)日常の中で抱いた疑問を対話しながら深めていき、最終的に納得できる“自分なりの答え”を見つけていく。この対話劇を見ることで、正解のない問いについてどのように考えを深めていけばいいのかが分かる。

○番組を見本にして考えの深め方や自分なりの答えを見つける手順を知ることができる。
○ワークシートが決まった書式で、毎回の授業で積み重ねができる。
○答えのない疑問で、何を言っても大丈夫なことから、生徒も遠慮しないで発言できる雰囲気になる。
●テーマによっては発達段階と合っていないものもあるが、実態に合わせてテーマを設定することで有効な活動になる。

【本実践における工夫点】

思考の流れの可視化

Zoomによる授業では手元がわかりにくいので、板書はＡ４ノートを使って黒色太字フエルトペンを使って本人が見やすいように提示する。

学習のパターン化による思考活動の定着

通常授業でも同じパターンで学習を繰り返すことで、個別学習やオンライン学習になっても同様の活動がスムーズにできるようになる。一人では考えを深められない生徒には道筋を外れないように指標を提示することで主体的な思考ができるようになる。

番組の継続的な視聴

そのためにも番組を継続的に視聴することで効率的に思考する方法を身に付けることができるようになる。

【本実践の成果○と課題●】

○番組を視聴して、それをそのまま実践することで考えや話し合いを深めることができるようになった。
○番組の雰囲気から自由に発言できる雰囲気を作ることができた。
○生徒一人の授業でも、実態に合わせて教員が質問を続けることで対話的で深い学びを実現できた。
○思考のパターンを習得することで、自分一人で思考を深めていく習慣を身に付けることができた。
●思考方法を汎化していろいろな場面で応用できるようにしていきたい。

2020年6月